

# 協賛会員（資・機材）規約書

橋端改良技術協会(以下甲という。 )と、 \_\_\_\_\_(以下乙という。 )

は、下記の事項に本日合意し、規約書（以下規約という。 ）を締結し、業務提携する。

## 第1条 （目 的）

本規約は、甲の活動主旨に賛同し且つ甲の活動地方内において連携し、乙の有する資・機材および技術をもって橋梁改良工事に関する製品営業の展開と会員への提供を行う事を目的とする。

## 第2条 （資 格）

橋梁関連の資・機材製造を営み、甲の認定する資・機材にて、橋梁改良工事に製品納入実績のある法人企業。

2．活動範囲は、甲の定める地方区分とする。

3．認定資・機材とは、甲が定める橋梁改良に関わる関連資・機材とする。

（認定資・機材；コンクリート保護、鋼材防食、その他特殊工法、等に使用）

4．1名以上の担当者(実務経験者)を選任する。

## 第3条 （権利及び義務）

乙は、甲が所有又は提案する工法及び情報を利用・活用することが出来る。

2．活動地方内において、工法及び認定資・機材、技術の営業活動を行い、且つ受注代理店からの資・機材受注の権利を有する。

活動地方；東北地方一円

3．活動地方内において、分野別競合がないことを原則とする。

4．橋端改良技術協会に加入し、組織的活動に参加する。

5．甲、又は各会員の要請に応じて、取り扱い資・機材の技術的支援を行う。

#### 第4条（提携）

乙は、甲へ以下の各号を履行することにより、規約の締結とする。

1. 本規約書の取り交わし。
2. 協会入会申込書の提出。

#### 第5条（提携解除）

甲は乙が以下の各号に該当したときは、催告なくして本規約を解除し、これによって被った損害賠償を請求できるものとする。規約の解除とは第3条の権利を失効し、協会の退会に繋がる。

1. 規約に違反した場合、若しくは著しい背信行為があったとき。
2. 破産、和議、特別清算、会社整理・再生・更正等の法的手続きが執られたとき。
3. 第6条による秘密保持事項の漏洩及び反社会的行為が判明したとき。

#### 第6条（秘密保持）

甲又は乙は、一方が秘密であることを明らかにし、相手方に書面にて提供した情報及び資料は、第三者に開示又は漏洩してはならない。但し、双方による書面にての了解事項及び相手方より開示を受ける前から既に知得し、又は公知のものはこの限りでない。

#### 第7条（提携期間）

本規約は、平成 年 月 日より2年間効力を有するものとする。但し第5条に抵触しない限り、又は甲乙いずれかから相手に対し、期間満了3ヶ月前迄に提携終了の書面（退会届・提携解除通知書）による通知にて双方合意をしたとき以外は、自動的に2年間延長されるものとし、以後も同様とする。

#### 第8条（提携終了）

第5条及び第7条により提携終了したとき、すべての権利義務が自然消滅することで

はなく、甲・乙双方に規約・業務上に関連した残務が存在するとき、誠意をもって、その整理と解決を履行する義務がある。

#### 第 9 条 （譲渡禁止）

甲及び乙は、本規約により発生する双方のすべての権利及び情報を、甲又は乙の文書による承諾がない限り、他へ譲渡及び担保に供することは出来ない。

#### 第 10 条 （意思表示）

甲及び乙は、本規約の重要な事項に関して、相手方に意志の表示をするときは、すべて文書にて行うこととする。

#### 第 11 条 （合意管轄）

甲及び乙は、本規約に関して、万一紛争が生じたときは、甲の所在地を管轄する地方裁判所を専属管轄裁判所とする。

#### 第 12 条 （協 議）

本規約に定めのない事項、若しくは本規約の解釈について疑義が生じたときには、その都度甲、乙の誠意ある協議にてこれを定める。

以 上

上記規約の締結を帰するため、本規約書 2 部を作成し、甲乙それぞれ署名と捺印の上、  
各 1 部を保管する。

規約 No \_\_\_\_\_

平成 年 月 日

( 甲 )

住 所 〒981 - 3117

仙台市泉区市名坂字野蔵 19 番地の 3

橋端改良技術協会

氏 名 会長 印

( 乙 )

住 所

氏 名